

「瀕死の医療」 大津秀一著（3F 研修室）

患者さんは病院とどうつきあい、どう生きればいいのか、患者さんの視点（状況）に立って考えた医療のお話です。

終末医療、生前意志表示（悲しい長生き）、医療制度の崩壊に向かう日本、私共医療関係者にとって考えさせられる本です。

興味がある方はご覧ください。